

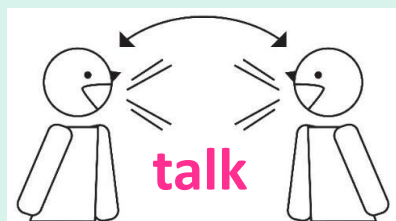
< 基本動詞 > speak & talkの世界

CORE IMAGE



speak

言語音を出す



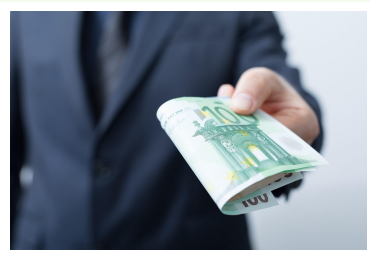
talk

言語でやりとりをする

Now you're talking.



speak も talk も「話す」と訳されます。違いは何でしょうか。電話がかかってきた場面で本人が出た場合、「私です」という際に talking ではなく **speaking** と答えます。一方、「金がモノをいう」という比喩的な表現がありますが、それを英語では **Money talks.** といい、Money speaks. とは言いません。



Money talks.

金がモノをいう

「言語音を出す」というのが speak のコアです。

そこで、She speaks Chinese. だと「彼女は中国語を話す」という内容になります。電話で「私です」と答えるには **Speaking!** と言います。Can I talk to John? という相手に対して、電話口に出た人が John なら、**This is John speaking.** となり、**Speaking.** はその省略形です。

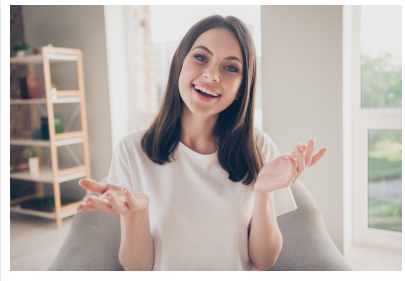


This is John speaking.

／**Speaking.**

ジョン(私)です

「話す声がすてき」という場合も **She has a nice speaking voice.** (彼女はいい声をしている)と speak を用います。音の出し方に関係があるからです。speak には一方向性があり、**Let him speak for himself.** といえば「彼に自分の意見を言わせよう」ということです。大統領がテレビなどで国民に話しかけるときも speak を使い、**Tonight the President will speak to the nation on TV.** (今夜、大統領がテレビで国民に話しかけます)のように使います。



She has a nice **speaking** voice.

彼女はいい声をしている



Let him **speak** for himself.

彼に自分の意見を言わせよう



Tonight the President will **speak** to the nation on TV.

今夜、大統領がテレビで国民に話しかけます

一方、talk のコアは、「言語でやりとりをする」ということで、**a talk show** (トーク番組)や **summit talks** (首脳会談)などではやりとりの部分が活かされています。



a talk show

トーク番組



summit **talks**

首脳会談

Money talks. (金が物を言う)の場合、状況的に「交渉」が含まれるため talk がよいこととなります。ある問題について話し合おうだと **Let's talk about the matter.** と言いますが、遣り取りが前提の場合には talk を使います。なお、talk は言語音でなくても手話でもできるため **“talking without speaking”** (歌 Sound of Silence から)という表現が可能となります。



Let's **talk** about the matter.

ある問題について話し合おう



“talking without speaking”

しゃべらずに話す(手話で話す)

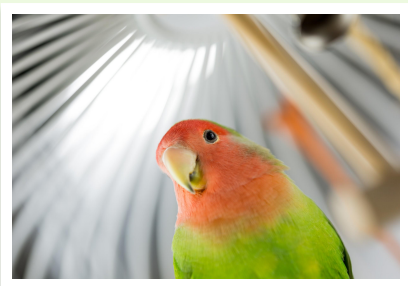
My baby starts talking. だと「コトバを使ってやりとりをするようになった」ということです。



My baby starts **talking.**

私の赤ちゃんはコトバを使ってやりとりをするようになった

「オウムがしゃべる」だと、一方的に言語音を真似るだけなので **My parrot speaks.** となりますが、言葉を理解して会話相手になってくれると飼い主が考えていれば、**My parrot talks.** となるでしょう。現在は、頻度的には、**My parrot talks.** のほうが多いかもしれないですね。「口答えする」はやりとりが関与することから talk を使い、**You just listen to me. Don't talk back.** (私の話を聞きなさい。口答えはしないで)のように表現します。なお、独り言は英語では **talk to oneself** といい、**Stop talking to yourself.** (独り言を言うのはやめて)のように使います。



My parrot **speaks**.

オウムがしゃべる



My parrot **talks**.

オウムが(私に)話す



You just listen to me. Don't **talk** back.

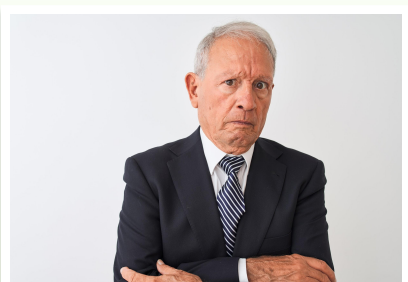
私の話を聞きなさい。口答えはしないで



Stop **talking** to yourself.

独り言を言うのはやめて

相手が Let's dine out tonight. Dinner is on me. (今夜、外食しよう。ぼくのおごりだよ)と言ったのに対して、**Now you're talking.** と応じれば「いいこと言うねえ」といった感じです。**Look who's talking!** といえば「誰に向かって話しているんだ、お前は何様だと思っているんだ」といった感じですね。



Look who's **talking!**

誰に向かって話しているんだ、お前は何様だと思っているんだ